

デザイン科	科目名	選択 A(デザイン材料)	校長		教頭	
履修学科	デザイン科		担当			
履修学年	第 2 学年	履修単位	2 単位			
概要及び目標	①デザインに関わる材料の利活用について工業生産を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。【知識及び技術】 ②デザインに関わる材料の利活用や子広報に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき構想を立て解決する力を養う。【思考力・判断力・表現力等】 ③デザインに関わる材料の利活用とよりよい生活空間を構築する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】					
評価基準及び方法	①デザインに関わる材料の利活用について実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(定期テスト、ワークシート) ②デザインに関わる材料の利活用について課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。(定期テスト、ワークシート) ③デザインに関わる材料の利活用について技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(授業観察)					
使用教科書及び教材	・色彩検定 公式テキスト 2級編、資料等、その都度配布					
その他留意点						

学習計画

週	学習内容	備考
1～3	1. 色のユニバーサルデザイン	
3～7	2. 光と色	
8～11	3. マンセル表色系	
12～14	4. 色彩心理	
15～18	5. 色彩調和	
19～22	6. 配色イメージ	
23～26	7. ビジュアル	
27～29	8. ファッション	
30～32	9. インテリア	
33～35	10. 景観色彩	
36～38	11. 慣用色名	

デザイン科	科目名	情報メディア 選択 A 群 / 自科選択	校長		教頭	
履修学科	デザイン科		担当者			
履修学年	第2学年	履修単位	2単位			
概要及び目標	①様々な公募(ロゴマーク・ポスター・プロダクトデザイン等)に応募し、スキルアップと実践力を養う。 ②目的に沿って適切に制作できるようにする。					
評価基準及び方法	授業態度・出席…10%、スキル…30%、課題作品…60% 5段階評価で行なう。					
使用教科書及び教材	その都度、資料配付(公募応募要項など)					
その他留意点	応募〆切に合わせて制作期間を調整する					

学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション 年間の授業内容の説明	
2～3	課題① 公募内容説明 アイディアスケッチ	
4～8	本制作 完成 講評 課題提出	
9～10	課題② 公募内容説明 アイディアスケッチ	
11～14	本制作 完成 講評 課題提出	
15～16	課題③ 課題説明 アイディアスケッチ	
17～21	本制作 完成 講評 課題提出	
22～23	課題④ 課題説明 アイディアスケッチ	
24～28	本制作 完成 講評 課題提出	
29～30	課題⑤ 課題説明 アイディアスケッチ	
31～37	本制作 完成 講評 課題提出	
38	まとめ	

デザイン科	科目名	ビジュアルデザイン 選択 A 群 / 自科選択	校長		教頭	
履修学科	デザイン科		担当者			
履修学年	第2学年	履修単位		2単位		
概要及び目標	(1)ビジュアルデザインについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。【知識及び技術】 (2)意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができる。【思考力・判断力・表現力等】 (3)メディアデザインがもたらす心豊かな生活や、社会を創造していく態度を養う。また、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】					
評価基準及び方法	①デザインについて社会や生活との関係を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ②デザインにより解決できる課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき構想を立て解決する力を身に付けている。 ③デザインによる豊かで快適な生活空間を構築する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。					
使用教科書及び教材	その都度、資料配付(公募応募要項など)					
その他留意点	応募〆切に合わせて制作期間を調整する					

学習計画

月	予定時数	指導項目	
4・5月	12	オリエンテーション ビジュアルデザインの概要 ・情報とデザイン・パッケージデザイン ・グラフィックデザイン デザインと創造活動 課題①かりゆしウェアのデザインをしてみよう。	
6・7・9月	20	デザインと創造活動 課題②地域の活性化につながるロゴマークを考えてみよう。 課題③学校行事をアピールするポスターを制作しよう。	
10・11月	12	デザインと創造活動 課題④工業祭で販売する商品のパッケージデザインを考えよう。 課題⑤産業教育フェアをアピールするポスターを制作してみよう。	
12・1月	12	デザインと創造活動 課題⑥学校をアピールするコマーシャルを制作してみよう。	
2・3月	12	デザインと創造活動 課題⑦自由テーマ今まで学んだことを活かし、制作してみよう。	

デザイン科	科目名	デザイン実践(グラ技)	校長		教頭		
履修学科	デザイン科		担当者				
履修学年	第2学年	履修単位	2単位				
概要及び目標	①グラフィックデザインについての幅広い専門的知識・理論を習得する。 ②グラフィックデザイン検定3級に合格できるレベルの知識修得を目標とする。						
評価基準 及び方法	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会や生活における諸課題をデザインによって解決することに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)デザインについて社会や生活との関係を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。【知識及び技術】 (2)デザインにより解決できる課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき構想を立て解決する力を養う。【思考力・判断力・表現力等】 (3)デザインによる豊かで快適な生活空間を構築する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】						
使用教科書 及び教材	グラフィックデザイン検定問題集(発行:全国工業高等学校長協会)						
その他留意点	1級については実技試験があるので授業外で実技講習を受講する必要がある。						

学習計画

週	学習内容	備考	週	学習内容	備考
1	オリエンテーション(1年間の流れ) マーケティング・企画・デザイン①	1学期期末 考查範囲	19	印刷②	2学期期末 考查範囲
2	マーケティング・企画・デザイン②		20	仕上げ・製本①	
3	マーケティング・企画・デザイン③		21	仕上げ・製本②	
4	マーケティング・企画・デザイン④		22	検定対策①	
5	マーケティング・企画・デザイン⑤		23	検定対策②	
6	写真①	1学期期末 考查範囲	24	検定対策③	
7	写真②		25	検定対策④	
8	写真③		26	検定対策⑤	
9	写真④		27	検定対策⑥	
10	編集レイアウト①	2学期中間 考查範囲	28	誌面レイアウト考察①	検定後
11	編集レイアウト②		29	誌面レイアウト考察②	
12	編集レイアウト③		30	誌面レイアウト考察③	
13	編集レイアウト④		31	誌面レイアウト考察④	
14	写真製版①		32	誌面レイアウト考察⑤	
15	写真製版②		33	誌面レイアウト考察⑥	
16	写真製版③	2学期期末 考查範囲	34	誌面レイアウト考察⑦	
17	写真製版④		35	誌面レイアウト考察⑧	
18	印刷①				

デザイン科	科目名	課題研究(DTP)				
履修学科	デザイン科			担当者		
履修学年	第2学年		履修単位	2単位		
概要及び目標	① Illustrator、Photoshop の基本的操作とDTP制作について意義を理解する ② DTPの基本的なルールを理解し、データ制作ができるようになる					
評価基準及び方法	① DTP に関する技術を実際の作業に即して、総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。【知識・技術】 ② DTP に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。【思考・判断・表現】 ③ DTP に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。【主体的に取り組む態度】					
使用教科書及び教材	・Illustrator&Photoshop 操作とデザインの教科書 ・資料等、その都度配布					
その他留意点	年間を「DTP」と「プレゼンテーション」で授業を行う。					

学習計画

週	学習内容	備考
1-2	オリエンテーション(Illustrator、Photoshopの復習)	4月から 10 月まで
3-5	DTP歴史と書体	
6-9	組版基礎	
10-12	図版	
13-18	鑑賞・講評	

デザイン科	科目名	課題研究 (プレゼン基礎)	校長		教頭	
履修学科	デザイン科		担当者			
履修学年	第2学年		履修単位	2単位		
概要及び目標	1. 自分の作品のアイデアや成果、考察、意見などをスライドに表現し、他者の前で説明することができる。 2. 他者の発表に対して質問やコメントを述べるすることができる。質問やコメントに対して受け答えができる。					
評価基準及び方法	1. プレゼンテーションに関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(知識・技術) 2. プレゼンテーションに関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。(思考・判断・表現) 3. プレゼンテーションに関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主体的に取り組む態度)					
使用教科書及び教材	必要に応じデジタル媒体、紙媒体で配布する					
その他留意点	年間を「DTP」と「プレゼンテーション」の2ローテーションで授業を行なう。					

学習計画

週	学習内容	備考	
前半	1	オリエンテーション、プレゼンの基礎、意義と必要性。様々なプレゼンの種類。プレゼンの様々なツール。プレゼン制作の流れ。	
	2	演習①-1プレゼンの構造(起承転結、序・本論・まとめ)。Keynote基本演習。	
	3	演習①-2プレゼンのテーマ「学級費10万円をクラスのためにどう使う?」コンセプト設定、プランニングシートを作成。プレゼンの構造と文章の流れ(明確で論理たてて構造化)	
	4	演習①-3スライドレイアウト制作。Keynoteの基本操作。Keynoteの画面構造、各種ツール機能を使用しスライド制作。	
	5	演習①-4 Keynoteの基本スライドのフォーマット制作。文字入力と配置。	
	6	演習①-5 Photoshopで写真の加工(モード、解像度、パス、明度、色味、切り取ぬき等)写真の配置。テキストの書式。スライドのデザイン。	
	7	演習①-6 スライドに合わせて発表者ノートの作成。効果的な発表の方法。	
	8	演習①-7 発表。講評。まとめ。	
後半	9	演習②-1プレゼンの構造(起承転結、序・本論・まとめ)。Keynote基本演習。	
	10	演習②-2プレゼンのテーマ「職業について/私は新人採用担当者」コンセプト設定、プランニングシートを作成。プレゼンの構造と文章の流れ(明確で論理たてて構造化)	
	11	演習②-3スライドレイアウト制作。Keynoteの各種ツール機能を使用しスライド制作。	
	12	演習②-4 Keynoteの基本スライドのフォーマット制作。文字入力と配置。	
	13	演習②-5 Photoshopで写真の加工(モード、解像度、パス、明度、色味、切り取ぬき等)写真の配置。テキストの書式。スライドのデザイン。アニメーション。	
	14	演習②-6 スライドに合わせて発表者ノートの作成。効果的な発表の方法。	
	15	演習①-7 発表。講評。	
	16	プレゼンまとめ。	

デザイン科	科目名	工業技術基礎(写真)	校長		教頭	
履修学科	デザイン科		担当者			
履修学年	第2学年		履修単位	2単位		
概要及び目標	①カメラの仕組み・操作について学習する。 ②ポートレート撮影について学習する。 ③マニュアルモードでの撮影を学習する。 ④レタッチ・プリントについて学習する。 ⑤作品として仕上げる。 ⑥作品講評会でクラスメイトの作品にふれる。					
評価基準及び方法	写真に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。【知識・技術】 写真に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。【思考・判断・表現】 写真に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。【主体的に取り組む態度】					
使用教科書及び教材	デジタルカメラ、PC(Mac)、プロジェクター、インクジェットプリンタ、写真集、その他資料等					
その他留意点	1クラスを2分割し、1つのグループに対して全16回で完結する集中講義型の授業。					

学習計画

週	学習内容	備考
1	カメラの基本設定・構え方の復習 (仕組み・使用方法・構え方)	1～3学期を2つのローテーションで展開
2	課題説明・作品鑑賞	
3	校内撮影	
4	校内撮影・写真セレクト	
5	写真セレクト・写真レタッチ	
6	写真レタッチ・プリントアウト	
7	写真レタッチ・プリントアウト	
8	講評会	
9	課題説明・作品鑑賞	
10	校内撮影	
11	校内撮影	
12	校内撮影・写真セレクト	
13	写真セレクト・写真レタッチ	
14	写真レタッチ・プリントアウト	
15	写真レタッチ・プリントアウト	
16	講評会	

デザイン科	科目名	実習(映像基礎)	校長		教頭	
履修学科	デザイン科		担当			
履修学年	第2学年	履修単位	3単位			
概要及び目標	①デザイン分野における映像について社会や生活との関係を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。【知識及び技術】 ②映像表現によって解決できる課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき構想を立て解決する力を養う。【思考力・判断力・表現力等】 ③豊かで快適な生活空間を構築する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】					
評価基準及び方法	①デザイン分野における映像に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。(映像基礎作品) ②映像基礎を学ぶ中で課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。(映像基礎作品) ③映像表現に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(授業観察)					
使用教科書及び教材	・資料等、その都度配布					
その他留意点	1～3学期を4つのローテーションで展開					

学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション(映像の種類、動いて見える原理、アプリケーションについて)	1～3学期を4つのローテーションで展開
2	図形アニメーション 01(Keynote)	
3	図形アニメーション 02(Keynote)	
4	絵コンテについて	
5	ストップモーションアニメ(Keynote、Photoshop)	
6	映像と音の関係(iMovie、Garageband)	
7	映像編集について(iMovie)	
8	鑑賞・講評会	



デザイン科	科目名	実習(スクリーン基礎)	校長		教頭		
履修学科	デザイン科		担当者				
履修学年	第2学年	履修単位	3単位				
概要及び目標	※標準単位数を下回る場合の理由とその対応策等、必要に応じて記載する欄とする						
評価基準 及び方法	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会や生活における諸課題をデザインによって解決することに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)デザインについて社会や生活との関係を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。【知識及び技術】 (2)デザインにより解決できる課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき構想を立て解決する力を養う。【思考力・判断力・表現力等】 (3)デザインによる豊かで快適な生活空間を構築する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】						
使用教科書 及び教材	そのつど資料を配付						
その他留意点	1～3学期を4つ(造形基礎、窯業基礎、スクリーン基礎、絵画応用)のローテーションで展開						

学習計画

週	学習内容	備考
1	○ローテーションオリエンテーション 本授業を行う上での注意事項等の確認。 ○スクリーン印刷について 印刷の種類や印刷の方法について資料を提示しながら確認。 ○原画の制作 テーマを設定し、それに沿った原画を制作する。	1～3学期を 4つのローテーションで展開
2	○下絵の制作 原画をもとに色ごとの版に使用する下絵を描き分けていく。	
3	○版の制作① 版に乳剤を塗布、乾燥、感光を行い、版を制作する。	
4	○版の制作②	
5	○版の制作③	
6	○印刷① 2人1組で作業を行い、最低4枚印刷をする。	
7	○印刷②	
8	○印刷③ 乾燥させた作品を台紙に貼り付け、講評会の準備をする。 ○講評会 作品の講評会を行い、レポートを作成する。	



デザイン科	科目名	実習(造形基礎)			
履修学科	デザイン科		担当者		
履修学年	第2学年	履修単位	3単位		
概要及び目標	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の諸課題を適切に解決することに必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
評価基準及び方法	(1) 工業技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術の関わりを踏まえて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。(知識・技術) (2) 工業技術に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の発展に対応し解決する力を養う。(思考・判断・表現) (3) 工業技術に関する広い視野を持つことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。(主体的に取り組む態度)				
使用教科書及び教材	資料等、その都度配布				
その他留意点	スクリーン基礎、窯業基礎、絵画応用で4ローテーション				

学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション…木材・機械の扱いについて	スクリーン基礎、窯業基礎、絵画応用で4ローテーション
2	木製椅子…木材加工(製材)・デザイン	
3	木製椅子…寸法	
4	木製椅子…材料のカット(丸のこ)	
5	木製椅子…接着部分の凹凸のみぞ切り・座面の切り出し	
6	木製椅子…座面の加工①	
7	木製椅子…座面の加工②	
8	木製椅子…やすり・ニス塗り	
9	木製椅子…まとめ レポート・作品の撮影	

デザイン科	科目名	実習(窯業基礎)	校長		教頭	
履修学科	デザイン科		担当者			
履修学年	第2学年	履修単位	3単位			
概要及び目標	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会や生活における諸課題をデザインによって解決することに必要な資質・能力を育成することを旨とする。					
評価基準及び方法	(1) 窯業に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 (2) 窯業に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。 (3) 窯業に関する技術の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。					
使用教科書及び教材	資料等、その都度配布					
その他留意点	窯業基礎、シルクスクリーン基礎、造形基礎、絵画応用で4ローテーション					

沖縄県立浦添工業高等学校

令和5年度シラバス

### 学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション…窯業についての基礎知識を学ぶ、アイディアスケッチ	窯業基礎、シルクスクリーン基礎、造形基礎、絵画応用で4ローテーション
2	作品制作(玉作り)①	
3	作品制作(玉作り)②、作品制作(タタラ成形)①	
4	作品制作(タタラ成形)②、作品制作(ひも作り)①	
5	作品制作(ひも作り)②	
6	作品制作(ひも作り)③	
7	釉がけ	
8	鑑賞・講評会…仕上げ	

デザイン科	科目名	製図	校長		教頭	
履修学科	デザイン科		担当者			
履修学年	第2学年	履修単位	1単位			
概要及び目標	工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、工業の各分野の製図に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					
評価基準及び方法	(1) 工業の各分野に関する製図について日本工業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。【知識及び技術】 (2) 製作図や設計図に関する課題を発見し、工業に関わる者として科学的な根拠の基づき工業技術の発展に対応し解決する力を養う。【思考力・判断力・表現力等】 (3) 工業の各分野における部品や製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。【学びに向かう力、人間性等】					
使用教科書及び教材	・その都度、資料配布または提示					
その他留意点						

学習計画

週	学習内容	備考
1	オリエンテーション	
2～3	道具の使い方・線の形と幅	
4	平面図法・・・直線に関する図法	
5～8	平面図法・・・平面に関する図法①,② 円に関する図法①,②	
9	復習・テスト対策	
10～11	期末テスト テスト解答	
12～15	立体図法・・・投影法の種類 正投影法・第三角法①,②,③	
16～18	立体図法・・・1消点透視図法①,②,③	
19	復習・テスト対策	
20～21	中間テスト テスト解答	
22～24	立体図法・・・2消点透視図法①,②,③	
25～27	立体図法・・・3消点透視図法①,②,③	
28	復習・テスト対策	
29～30	期末テスト テスト解答	
31～32	立体図法・・・2消点透視図法自由課題①	
32～35	立体図法・・・2消点透視図法自由課題②	
36～37	学年末テスト テスト解答	
38	まとめ・講評会	

